

令和6年度ラムサールびわっこ大使活動記録

滋賀県のラムサールびわっこ大使事業は、平成20年度から次世代の環境リーダーを育成する目的で実施されています。令和6年度は、滋賀県内の小学5、6年生から8名の大使が選出され、滋賀県内での4回にわたる事前学習を通じて、滋賀県の豊かな自然と、そこに暮らす人々の暮らしや文化、伝統を学びました。また、鳥取県と島根県への県外派遣においては、現地の子どもラムサールクラブ、ラムサール探偵団との交流を通じて滋賀県の魅力を再発見すると同時に、宍道湖と中海の自然環境や生き物について学びました。

先日、3月16日に滋賀県知事（代理出席 県琵琶湖環境部次長）への活動報告を実施して、本年度の活動を終了しました。

ここで、半年間にわたるびわっこ大使の活動をご紹介します。

～第1回事前学習会（2024年9月7日：淡海環境プラザ 他）～



びわっこ大使に関わるスタッフ紹介の後、令和6年度のびわっこ大使に任命状が授与され、大使たちはお互いに自己紹介をして仲を深めた後、琵琶湖やラムサール条約について基礎学習を行いました。

午後からは琵琶湖の漁師さんのお話を聞いた後、早速フィールドに出て、セタシジミ漁体験を行いました。琵琶湖の大切な資源を守る取組や、湖の恵みについて学ぶことができました。

<参加者>びわっこ大使8名/県関係者2名/財団2名
<協力>滋賀びわ湖漁業協同組合 瀬田支所

～第2回事前学習会（2024年10月19日：河辺いきものの森）～



河辺いきものの森をフィールドに、森と湖の関係を学びました。実際に森を散策しながら植物や生き物を観察するとともに、林床を明るくして新たな木の成長を促進させるための里山保全活動（雑木の伐採）を体験しました。伐採した木は「木の枝色鉛筆」に加工して無駄なく利用しました。また、食害を軽減するために駆除されたシカの有効利用についても学び、昼食には「鹿肉カレー」をいただきました。

<参加者>びわっこ大使8名/講師1名/県関係者2名/財団2名
<協力>特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会
株式会社アドバンス（CoCo壱番屋）

～第3回事前学習会（2024年12月14日：新旭水鳥観察センター）～



翌月に控えた県外派遣を前に、琵琶湖に飛来する水鳥や滋賀県で見られる野鳥について学びました。双眼鏡や望遠鏡を使った観察方法や観察のポイント、水鳥の行動や食性などを細かく教えて頂きました。

講義の後は観察道具をもってフィールドに繰り出し、琵琶湖の水鳥観察を行いました。カンムリカイツブリやオオバン、カモ類など様々な水鳥を観察し、ラムサール条約登録地となっている琵琶湖の豊かな自然環境を肌で感じる事ができました。

<参加者>びわっこ大使8名/県関係者2名/財団1名
<協力>高島市新旭水鳥観察センター

～世代間交流会（2024年11月9日：淡海環境プラザ、新浜ビオトープ）～



びわっこ大使のOBOGの皆さんと一緒に、琵琶湖に生息する魚類の行動解析について学びました。また、実際に受信機が設置されている新浜ビオトープで受信データを回収するとともに、リアルタイムで発信機から送られてくるデータの解析を行いました。

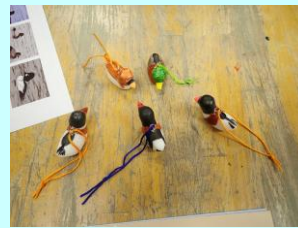
活動の後は現役大使とOBOGの合同班で、一日の中で学んだことや心に残ったこと、県外派遣先に伝えたい滋賀県の魅力についてふりかえりと意見交換を行い、模造紙にまとめて発表しました。

先輩びわっこが率先して活動を引っ張ってくれ、現役びわっこの憧れになりました。

びわっこ大使の仲間である頼もしい先輩たちとともに、これからも手を取り合って環境リーダーとして活動をしていきたいと思えた一日でした。

<参加者>びわっこ大使8名/びわっこ大使OB・OG13名/講師1名/県関係者2名/財団1名
<協力>国立環境研究所 琵琶湖分室

～県外派遣（2025年1月25日～27日：宍道湖・中海）～



〇1日目

鳥取県の米子水鳥公園を訪問し、現地の子どもラムサールクラブの皆さんと一緒に中海の水鳥観察を行いました。その後島根県へ移動し、宍道湖で水鳥観察を行うとともに、鳥取県・島根県・滋賀県の3県がそれぞれ活動報告発表を行いました。

びわっこ大使として滋賀県と琵琶湖の魅力伝えるとともに、宍道湖・中海について学びました。

〇2日目

早朝からマガンのねぐら立ちを観察した後、鳥取県、島根県の皆さんと一緒に水鳥ストラップづくりと、「渡り鳥のメッセージ」として水鳥の生息環境を守るために自分が何をするか、何ができるかについて考えました。メッセージは鳥型の紙に記入して壁に貼り付け、最後はその前で記念撮影を行いました。

午後はびわっこ大使単独で宍道湖自然館ゴビウスを訪問し、飼育員の方から宍道湖の生き物についてレクチャーを受けました。

〇3日目

宍道湖エコクルーズに乗船し、船の上から宍道湖のシジミ漁を見学したり、ガイドの方に宍道湖の特徴について教えて頂きました。

あっという間の2泊3日でしたが、琵琶湖とは違ったラムサール条約登録地の魅力を知ることができました。

<参加者>びわっこ大使8名/講師2名/県関係者1名/財団2名

～活動報告会（2025年3月16日：琵琶湖博物館セミナー室）～



琵琶湖博物館の学芸員の方から改めて琵琶湖の成り立ちや歴史について教えて頂き、半年間の学習の総仕上げを行ったあと、びわっこ大使として学んできたことについて活動報告会で発表を行いました。学習の成果をたくさんの方に向けて発信するとともに、びわっこ大使の活動で学んだことを、今後どう活かしていきたいかの決意表明をしました。

<参加者>びわっこ大使8名/顧問・講師3名/びわっこ大使OBOG6名/現地講師2名
県関係者2名/財団3名 他保護者さま、県議会議員等（計59名）



本当にお疲れさまでした！！

